

第2期  
大竹市  
まち・ひと・しごと  
創生総合戦略



令和4年度評価一覧  
(令和5年11月)

## ③ 第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 1 大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

#### ① 策定の背景

地方創生は、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的としています。

この目的に向かって政府一体となって取り組むため、平成26(2014)年11月28日にまち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)が制定されました。また、同年12月には、人口の現状と将来の展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が策定されるとともに、まち・ひと・しごと創生法に基づき、5か年の目標や施策の基本的方向をまとめた、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27(2015)年度～令和元(2019)年度)が策定されました。

また、令和元(2019)年には国の指針が改訂され、同年12月には、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度)が策定されています。

これらの国の方針を踏まえ、本市では、全国よりも早く人口減少が進み、少子化・長寿化が著しく進行している状況への対応として、平成27(2015)年10月に「大竹市人口ビジョン」及び「第1期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27(2015)年度～令和元(2019)年度)を策定しました。

その後、第1期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間を令和2(2020)年度まで1年延長した上で、第1期基本計画と一体的に策定する令和3(2021)年度からの新たな地方創生の取組として、第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定することとしました。

#### ② 目的と位置づけ

本市のまち・ひと・しごと創生に関する基本的な計画として、大竹市人口ビジョンにおける将来人口の見通し以上の成果を得るための、今後4年間の目標及び実現に向けた方向性や具体的な施策を示しています。

第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たっては、基本構想におけるまちづくりの理念を念頭におきつつ、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(p18参照)を勘案しています。

#### ③ 対象期間

第1期基本計画及び国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と整合を図り、令和3(2021)年度から令和6(2024)年度までの4年間を対象期間とします。



## 2 基本的事項

### ① 基本理念

基本構想の理念や、基本構想がめざす将来像を念頭に置きつつ、第1期基本計画と一体的に策定することから、第1期基本計画に掲げるまちづくりのテーマ「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」を基本理念とします。

基本理念

# 生涯おおたけ やっぱりおおたけ

### ② 取組にあたっての基本的な考え方

本市の人口は、産業構造の転換が進んだ昭和50(1975)年をピークとして、全国よりも早く減少に転じ、現在まで減少傾向が継続しています。

人口減少により、市の財政規模が縮小すると、各種行政サービス水準の低下を招くおそれがあります。行政サービス水準の低下はまちの魅力の低下につながり、さらなる人口流出をもたらす要因となるなど、負のスパイラルを引き起こすことが懸念されます。

そのため、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における、人口減少の克服と地方創生を実現するための基本目標を踏まえ、本市の人口減少に伴う問題の顕在化を未然に防ぐことをめざし、「まち」・「ひと」・「しごと」の各分野で基本目標を設定します。

各分野の基本目標の達成に向けた取組に当たっては、地方創生の取組の継続・発展のため、多様な人材の活躍を推進し、Society5.0の実現に向けた未来技術の活用推進や、SDGsを原動力とした地方創生を推進することで新しい時代の流れを力にするとともに、地域の特性に応じた多様なアプローチを柔軟に行い、「まち」・「ひと」・「しごと」の好循環をつくり出していきます。

第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略			(国)第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略		
分野	視点	➔	基本目標	(横断目標)取組の視点	基本目標との関連性
まち	「住んでみたい・住み続けたい」と思える魅力的なまちをつくることで持続可能性を向上させます	➔	<b>1.誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する</b>	1 多様な人材の活躍を推進する 2 新しい時代の流れを力にする	2.地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる 4.ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる
ひと	子育て支援の充実は、「生み・育てることへの不安」を軽減させる要素のひとつです	➔	<b>2.結婚・出産・子育ての希望をかなえる</b>		3.結婚・出産・子育ての希望をかなえる
しごと	働く場があること、やりがいを感じられる魅力的なしごとがあることは、定住を考える時の要素のひとつです	➔	<b>3.地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する</b>		1.稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

総合戦略	施策評価		施策名 (まちづくり基本計画)	主な事業
	◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断			
まち	○	イベントについてはコロナ禍の影響が残るものの、回復傾向にある。	1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進	生涯学習推進事業、図書館運営事業など
	△	コロナ禍の影響により、中止した指導者向け講習会があったほか、スポーツ振興の要となる人材の固定化や高齢化が課題となっている。	1-4 豊かな心身を育むスポーツの推進	スポーツ振興事業
	○	ボランティア参加者は伸び悩んでいるが、文化財等の普及啓発事業や手すき和紙の体験や見学事業の実績は伸びている。	1-5 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進	文化財保護事業
	○	大竹駅周辺整備事業は令和6年度完了、小方地区まちづくり事業は内部検討を実施している。	3-1 快適で魅力的な都市空間の創造	大竹駅周辺事業、小方地区まちづくり事業など
	△	山間部等の地域公共交通のあり方について検討が必要。	3-3 生活を支える公共交通の充実	地域公共交通整備事業等
	○	空き家バンクの登録はないものの、リフォーム補助の申請は多く、住宅改修補助についても実績が伸びている。	3-5 住みよさと安心を生む住宅政策	住宅改修等補助事業、空家対策事業
	○	コロナ禍の影響は残るが、園路整備等、継続事業の実施等により利用者の増加が見込まれる。	3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備	晴海臨海公園整備事業
	△	老朽化する設備の更新にあたり、一定の成果はあるが、人員不足等によりペースが上がっていない。	3-7 暮らしを支える上下水道の整備	公共下水道事業、上水道事業
	○	市内小学校等への出前講座の実施や不法投棄監視パトロール、クリーンキャンペーンの実施など概ね計画通りに実施している。	3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり	環境学習事業、環境衛生・美化推進事業、ひろしまの森づくり事業など
	○	防災訓練や学習会の開催により、防災意識について、着実に伸びている。砂防事業、浸水対策事業については災害に備えしっかりと取り組んでいる。	4-1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり	防災体制整備事業、砂防事業、浸水対策事業など
○	関係団体や地域と連携し、交通安全の啓発や犯罪被害防止に向けた活動などを推進している。	4-2 事故や犯罪のない安全・安心な地域づくり	交通安全対策事業、防犯対策事業など	

関連するKPI	現状値 (R1)	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値
文化祭・公民館等まつりの参加者数（発表者・来場者）	8,401人	813人	<b>7,133人</b>	13,300人
市民1人あたりの図書館の貸出点数	4.3点	4.5点	<b>4.4点</b>	4.4点
スポーツ大会の参加者数	189,402人	71,843人	<b>108,623人</b>	210,000人
指導者（体育委員やボランティア）の数	128人	130人	<b>121人</b>	170人
手すき和紙ボランティア参加者数	443人	346人	<b>362人</b>	450人
大竹駅の整備率（事業費ベース）	23.4%	44.4%	<b>71.3%</b>	96.0%
小方地区まちづくり事業の整備完了面積	0%	3.4%	<b>3.4%</b>	10%
「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」と答えた人の割合	58.4%	46.2%	<b>46.5%</b>	50%以上
住宅耐震化率	83.10%	※国の統計数値。 次回公表はR7。	※国の統計数値。 次回公表はR7。	92%
空き家バンク登録件数（累計）	0件	0件	<b>0件</b>	2件
晴海臨海公園の利用者数	209,424人	99,720人	<b>127,607人</b>	210,000人
汚水処理人口普及率	99.1%	99.2%	<b>99.2%</b>	99.3%
有収率（配水量に対する有収水量の割合）【上水道】	78.6%	75.2%	<b>78.7%</b>	86.8%
環境全般に関する苦情件数	12件	13件	<b>10件</b>	10件
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と答えた人の割合	69.9%	63.7%	<b>68.7%</b>	75.0%
森林の間伐、枝打ち、皆伐等の施業面積	196.67ha	199.58ha	<b>201.27ha</b>	221.67ha
防災意識を持った世帯の割合	29.5%	51.2%	<b>54.2%</b>	80.0%
河川水路の浚渫を行った箇所数（累計）	0か所	9か所	<b>13か所</b>	13か所
事故の発生率（高速道路を除く人口1,000人あたりの事故の発生件数）	1.9‰ (ハ <sup>-</sup> -ミル)	1.1‰ (ハ <sup>-</sup> -ミル)	<b>0.9‰</b> (ハ <sup>-</sup> -ミル)	1.5‰ (ハ <sup>-</sup> -ミル) 以下
犯罪の発生率（人口1,000人あたりの犯罪の発生件数）	5.4‰ (ハ <sup>-</sup> -ミル)	3.3‰ (ハ <sup>-</sup> -ミル)	<b>3.0‰</b> (ハ <sup>-</sup> -ミル)	5.0‰ (ハ <sup>-</sup> -ミル) 以下

総合戦略	<b>施策評価</b> ◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 <small>※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断</small>		<b>施策名</b> (まちづくり基本計画)	<b>主な事業</b>
まち	○	研修の中止等、コロナ禍の影響を受けたものの、車両や資機材の整備など、計画通りに実施している。	<b>4-4 市民の命を守る消防体制の充実</b>	消防力強化事業、消防団活動の推進など
	○	老人クラブの会員数が減少しているものの、老人集会所の維持や体操グループの支援等による交流の場づくりの推進や、介護サービス施設の新設などに取り組んだ。	<b>5-1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援</b>	介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、介護施設整備等補助事業など
	×	関係団体からの要望の聞き取りや地域相談支援について周知のための取組を実施しているが実績はあがっていない。	<b>5-3 障害のある人が自分らしく生きるための支援</b>	障害者総合支援事業など
	△	高齢者見守りのためのタグやSOSシステムの利用者は増加傾向にあるが、地域福祉の担い手育成等、人材確保について実績が伸びていない。	<b>5-4 見守り支え合う地域福祉の推進</b>	地域福祉活動推進事業、地域見守り活動事業など
	◎	特定検診、がん検診の受診勧奨や啓発事業の実施、休日診療所の運営やへき地診療所の確保等、医療体制充実のための事業に取り組んでいる。	<b>5-5 元気・健康・安心をつくる保健・医療体制の充実</b>	健康づくり推進事業、医療体制整備事業
	△	計画に基づき食育授業の実施や管理栄養士の採用により食育事業の推進をしている。地域や家庭での理解や協力が必要であると感じている。	<b>5-6 正しい食生活と食文化を学ぶ食育の推進</b>	食育推進事業など
	○	地域課題に取り組む市民団体等への助成や、まちづくり基本構想等を活用した取組を実施している。	<b>6-1 市民と行政の協働による地域づくり</b>	協働のまちづくり推進事業、まちづくり基本構想等策定・推進事業など
	○	ホームページの操作性の見直しや新たな媒体の活用など発信力の強化のために取り組んでいる。	<b>6-4 時代に対応した情報政策とまちの魅力発信</b>	広報事業

関連するKPI	現状値 (R1)	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値
消防力の整備指針に基づく主要車両の更新整備率 (消防ポンプ自動車・救急自動車)	60.0%	80.0%	<b>80.0%</b>	100.0%
消防職員1人あたりの資格保有数	10個	10.3個	<b>11.2個</b>	11個
必要な研修を受講した消防団員の充足率(定数330人中)	27.8%	7.0%	<b>25.0%</b>	33.0%
救急車への救急救命士の乗車率(第2救急まで)	98.3%	98.5%	<b>97.4%</b>	100.0%
「通いの場」で活動している高齢者の数	292人	377人	<b>412人</b>	470人
「地域の役に立ちたい」と考えている人の割合(65歳以上)	32.6%	※アンケート 調査年のみ	※アンケート 調査年のみ	40.0%
介護給付費における計画値に対する実績	91.5%	96.5%	<b>95.0%</b>	100.0%
施設入所から地域生活へ移行した人数	0人	0人	<b>0人</b>	3人
「ボランティア活動に参加したいと思う」と答えた市民の割合	69.0%	63.8%	<b>65.0%</b>	70.0%
近所との関わりの程度	14.6%	13.1%	<b>14.0%</b>	40.0%
「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加するなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」と答えた人の割合	73.5%	88.7%	<b>90.2%</b>	75.0%
がんによる死亡率	48.2%	54.0%	<b>45.5%</b>	50%以下
入院を必要としない二次・三次救急医療機関受診者(帰宅者)の割合	JA総合:18% 西医療:69.9%	JA総合:24.0% 西医療:71.2%	<b>JA総合:23.0% 西医療:70.1%</b>	減少させる
JA広島総合病院の分娩制限の有無	制限なし	制限なし	<b>制限なし</b>	制限なし
家で家族の人と一緒に、または一人で料理を作ることができる児童生徒(小学5年生・中学2年生)の割合	—	76.2%	<b>72.8%</b>	80.0%
毎日朝食を食べる人の割合	76.8% (H29)	— 次回アンケート R5(実施済)	— 次回アンケート R5(実施済)	85%以上
食生活改善を実践している人の割合	73.2% (H29)	— 次回アンケート R5(実施済)	— 次回アンケート R5(実施済)	80%以上
「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と答えた人の割合	40.4%	52.4%	<b>55.9%</b>	41%以上
大竹市に愛着や誇りを持つ人の割合	65.7%	76.5%	<b>76.4%</b>	65.7%
市ホームページアクセス数	942,826	2,119,338	<b>2,522,005</b>	1,000,000

総合戦略	施策評価		施策名 (まちづくり基本計画)	主な事業
	◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断			
ひと	○	KPIの目標達成には至っていないが給食費の半額補助や遠距離通学支援、放課後児童クラブの待機児童0のための取組など、計画的に取り組んでいる。	1-1 子どもの学びと成長を支える教育の充実	幼保小連携事業、学校教育推進事業、奨学金貸付事業、学校連携・子どもの居場所づくり事業
	△	ジュニアリーダーの育成について、コロナ禍の影響もあるが、事業への参加者が伸び悩んでいる。	1-2 未来を担う青少年の健全な育成	青少年育成事業
	△	コロナ禍の影響もあるが、イベントへの参加者が伸び悩んでいる。	1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進	生涯学習推進事業
	◎	駐留軍等再編交付金基金等により、財源を確保して、子育て支援を充実させるために取り組んでいる。	5-2 子どもと子育てを支える体制の充実	こども医療費助成事業、母子保健事業、病児・病後児保育運営委託事業、地域子育て支援拠点事業など
しごと	○	種苗放流の計画的実施やブランド魚の販路維持に努めた。鳥獣被害対策のため補助の実施も継続して実施している。	2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興	水産業振興事業、鳥獣被害防止対策支援事業、農業振興対策事業など
	△	中小企業支援のための助成金制度等の講習受講者は増えているものの、商店街や商業者が連携して取り組む事業は目標の件数を下回っている。	2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興	商工振興事業、中小企業経営安定支援事業、商店街等振興奨励事業など
	○	コロナ禍の影響で観光客数は減っているが、市産品等の商品開発、登録について順調に取り組んでいる。	2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興	観光宣伝事業など
	◎	働き方改革推進のためのセミナー参加者は伸び悩んでいるが、雇用機会は比較的確保されている。	2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援	勤労者生活等支援事業
	○	取り扱い貨物の量は伸びていないが、大竹港までのアクセス道の整備等を関係機関に働きかけるとともに、既存施設の維持管理を計画通り進めている。	3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備	港湾施設管理事業、漁港施設維持管理事業

関連するKPI	現状値 (R1)	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値
小学1・2年生の不登校児童数	0人	1人	<b>4人</b>	0人
小・中学校の教育活動に満足している保護者の割合	91%	92%	<b>92%</b>	95%
中学校卒業生の進学率	100%	100%	<b>98%</b>	100%
「放課後子ども教室、らんらんカレッジ事業、放課後児童クラブ事業に「とても満足している」または「満足している」と答えた児童・保護者の割合	— (R2:80%)	79%	<b>91%</b>	85%
ジュニアリーダー育成事業、中学生交歓交流事業への参加が地域や社会で活躍するきっかけとなったと答えた人の割合	—	28%	<b>44%</b>	80%
文化祭・公民館等まつりの参加者数（発表者・来場者）	8,401人	813人	<b>7,133人</b>	13,300人
「安心して子どもを生み育てられる」と感じる人の割合	—	62.9%	<b>63.9%</b>	60.0%
産後1か月でEPDS（産後うつ病質問票）が9点以上の褥婦（おおむね産後6～8週間の期間にある女性）の割合	6.7%	6.1%	<b>6.5%</b>	減少させる
保育所等の待機児童数	0人	0人	<b>0人</b>	0人
保育所等への入所未決定児童数（特定の保育所や認定こども園を希望している児童）	5人	7人	<b>9人</b>	0人
要保護児童対策地域協議会登録児童の終結率	54.8%	67.1%	<b>59.0%</b>	60.0%
自立した母子・父子世帯の割合（児童扶養手当の給付を要しなくなった人の割合）	8.2%	11.3%	<b>11.0%</b>	10.0%
海面漁業漁獲量	3,647t (H29年度)	2,857t (R1年度)	<b>3,820t</b> (R2年度)	3,652t
あたたハマチtoレモンの価格	900円/kg	1,100円/kg	<b>1,200円/kg</b>	1,200円/kg
新規就農者数（累計）	0人	0人	<b>0人</b>	1人
市内事業所数の減少率	△3.2%	※国の統計数値。 次回公表はR7。	※国の統計数値。 次回公表はR7。	△3%以内
市内観光客数（1月～12月）	470,318人	280,529人	<b>297,608人</b>	520,000人
新規求人数に対する新規求職者数の年間割合	1.48	1.23	<b>1.39</b>	1倍以上2倍
大竹港で取り扱う貨物の量	145万t	140万t	<b>126万t</b>	160万t